

【進路部】施設見学

10月7日(金) 京都市聴覚言語障害センターへPTA役員5名(進路部3名・本部2名)、進路指導部木田先生・柚木脇先生と見学に行ってきました。

当センターは複合福祉施設で、施設入所支援・生活介護事業・デイサービスが併設され、共同生活援助(グループホーム)・就労継続支援B型(第2あおぞら就労支援事業所)は近くの別建物で運営されています。

聴覚に障害がある方のみを受け入れているイメージをもたれると思いますが、近年は聴覚障害の方以外にも様々な障害がある方も利用されており、互いによくコミュニケーションをとりながら過ごされています。

センター内はとても広く、いたるところに視覚に訴え情報を得る工夫がなされていました。



↑このような電光掲示板が数か所に設置されていて、普段は時計として、緊急時には文章が流れるなど、聴覚に障害がある方も目から情報を得ることができます。



←部屋にもライトが設置されています。

利用者一人一人、コミュニケーション方法が異なるなか、職員の方が身振り手振り、手話や指文字を使いながら、とても丁寧に、そして朗ら

かに対応されていた姿が印象的で温かな気持ちになりました。